温室と冷温室

研究・教育での利用を主な目的として多様な植物を収集する小石川植物園において、熱帯・亜熱帯地域の植物の栽培になくてはならない温室は最も重要な栽培施設のひとつです。温室では、約1,400種が栽培され、また、植物園で推進する小笠原諸島の絶滅危惧植物の保護増殖事業もここで行われています。屋外では夏の暑さに耐えられない植物のために、冷温室も設けられています。



温室のムニンノボタン（ノボタン科）



冷温室

分類標本園

植物の分類体系を生きた植物によって理解できるように、主要な科を代表する約500種の維管束植物をほぼエングラーの分類体系に従って配列した「生きた植物図鑑」です。



薬園保存園

小石川植物園は、もとは徳川幕府の薬園でした。薬園保存園では、当時ここで栽培されていたコガネバナ、オウレン、マオウなど約120種の薬用植物を栽培しています。



ウコギ（ウコギ科）



イカリソウ（メギ科）

ご寄付のお願い



「Life in Green」プロジェクトとは

「小石川植物園」と「日光植物園」を世界に誇る植物多様性の研究施設として整備し、社会に開かれた植物園へと発展させるプロジェクトです。東京大学基金を通じてのご寄付をお願いしています。



10万円以上のご寄付をいただいた方は、公開温室内の銘板にお名前を刻印させていただきます。また、100万円以上のご寄付をいただいた方は、お名前を刻印した銘板をつけたベンチを園内に新設させていただきます。

【 東京大学基金についてのお問合わせ 】
電話：03-5841-1217（東京大学基金事務局）
E-mail：kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

お申し込みはこちら▶



表紙植物の説明（イチョウ）

明治期に植物園の画工を務めた加藤竹斎による画。のちに平瀬作五郎が、園内のイチョウの雌株から種子植物にも精子（上図）があることを発見しました。

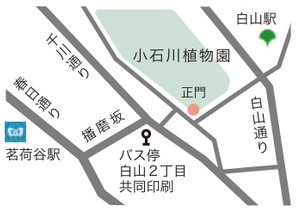


日光植物園

日光国立公園内にある分園。恵まれた自然環境を活かして、フィールド研究や野外実習の拠点として利用されています。
（4/1 – 11/30開園）栃木県日光市花石町1842

小石川植物園

〒112-0001 東京都文京区白山3-7-1
東京大学大学院理学系研究科附属植物園



植物園HP利用案内

入園料：大人（高校生以上）500円　子ども（小学生以上）150円
開園日：1/4-12/28　休園日：月曜日（祝日の場合は、その翌日）

【開館時間】	Open	Close
植物園※1	9:00	16:30（入園は16:00まで）
温室※2	10:00	15:00
柴田記念館※2	10:30	16:00

※1 再入園はできません。※2 臨時閉室、閉館の場合あり。

2023.2

Koishikawa Botanical Garden

東京大学大学院理学系研究科附属植物園

小石川植物園
案内図



東京大学大学院理学系研究科附属植物園

「小石川植物園」の名で親しまれている本植物園は、正式には東京大学大学院理学系研究科附属植物園といい、植物学の研究・教育を目的とする東京大学の附属施設です。本植物園は日本最古の近代植物園であり、1684（貞享元）年に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」がその前身です。面積は約161,588㎡（48,880坪）で、変化に富んだ地形を利用して多様な植物が配置されています。日本の近代植物学発祥の地でもあり、今日も自然史を中心とした植物学の研究・教育が行われています。園内には長い歴史を物語る数多くの由緒ある植物や遺構が残されており、2012年に国の名勝および史跡に指定されました。



略年表

1684(貞享元)年	徳川幕府、麻布南薬園を小石川御殿内の北側に移し、小石川薬園とする
1722(享保7)年	養生所を小石川薬園内に創設
1877(明治10)年	東京大学の創設に伴い大学附属の植物園となる
1896(明治29)年	平瀬作五郎、イチョウの精子発見
1902(明治35)年	日光に分園開設
1919(大正8)年	柴田記念館竣工
1939(昭和14)年	植物園本館竣工
1998(平成10)年	東京大学大学院理学系研究科附属植物園と改称 ※明治10年から昭和22年にかけて数度の改称があった
2012(平成24)年	国指定名勝および史跡となる
2019(令和元)年	公開温室竣工



1721年（享保6）年に御薬園が拡張され、ほぼ現在の植物園の形となった

東京大学大学院理学系研究科附属植物園

小石川植物園案内図



①精子発見のイチョウ

平瀬作五郎が研究材料に用いたイチョウ。樹齢約300年。



②大クスノキ



③イロハモミジ並木



④冷温室

【公開時間】10:00 - 15:00

※写真はコマクサ



⑤温室

【公開時間】10:00 - 15:00



⑥ニュートンのリンゴ

ニュートンの生家にあった木の枝を接木したもの。



⑦メンデルのブドウ

メンデルが実験に用いた由緒あるブドウの分株。



※ 東西約 750m、南北約 300m、面積約16ha

※ 園内各所（地図内数字の位置）には番号をつけた石柱標識が立っています。散策の目安にしてください。

※ ホームページや正門の掲示板に記載されている利用規則や注意・禁止事項を守ってご利用ください。

一般立入禁止区域
トイレ
バリアフリートイレ
オムツ交換台
水のみ場
階段
自動販売機
駐輪所
コインロッカー
売店・ショップ
現在通行止め
AED
あずまや
案内板・情報板
総合研究博物館小石川分館



⑰ウメ林



⑯旧養生所の井戸

1722（享保7）年に設立された小石川養生所で使われた井戸。



⑮甘藷試作跡の碑

青木昆陽がこの場所でサツマイモの試作を行ったことを示す記念碑。



⑭メタセコイア林

三木茂が化石に基づき1941（昭和16）年に発表、後に中国で生きている株が発見された。



⑬ソメイヨシノ林



⑫精子発見のソテツ

池野成一郎が研究に用いた鹿児島市に現存する株の分株。

⑧本館



内田祥三（うちだ よしかず）の設計により1939（昭和14）年に完成しました。研究室、事務室などのほか、腊葉標本約70万点、植物学図書約2万冊があり、研究に活用されています。（本館は非公開）

⑨柴田記念館



理学部植物学教室教授であった柴田桂太の「生理化学研究室」として、1919（大正8）年に建てられた建物です。建物の左側には記念碑が立っています。館内では、植物や植物園にまつわる展示を行っているほか、植物画カードや絵葉書、冊子等を頒布しています。

【開館時間】
10:30－16:00



植物画カード42種類
1枚180円（税込）

⑪旧東京医学校本館（重要文化財）（総合研究博物館小石川分館）



臨時休館中（2023年2月現在）
開館についての情報は総合研究博物館のHPをご確認ください。